

平成29年度 指定管理者モニタリング結果及び評価シート

評価期間 平成29年4月1日 ～ 平成30年3月31日

施設状況

施設名称	上福岡図書館	所管課	社会教育課大井図書館
指定管理者名	FUJIMINO TRC GROUP 代表団体 (株)図書館流通センター	施設分類	社会教育系施設
指定期間	平成27年10月1日 ～ 平成32年3月31日	利用料金制導入	なし(指定管理料のみ)
導入年月日	平成27年10月1日	指定回数	1回
施設設置目的	図書館法に基づき、市民の文化、教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする。		
施設概要	【開設】平成6年4月設置 【敷地面積・延床面積】4972.250㎡・2799.64㎡ 【主な施設】(地下)書庫、機械室(1階)閲覧室、くつろぎコーナー、歩歩、事務室(2階)集会室1、集会室2、視聴覚ホール		
管理運営の基本方針	設置目的、市政運営上の位置づけ、地域特性、地域ニーズを基に、無駄な出費のない、透明性の高いサービスを心がける。		
指定管理者の主な業務	施設維持管理、図書館サービス全般、施設貸出		

【評価項目】

【評価基準】 5:目標値以上の結果で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが大きいと評価できる場合/4:目標値以上の結果で評価できる場合(上記「5」以外)、又は業務等が適切で、期待する水準以上であった場合/3:業務等が適切で目標値に達している場合、又は業務等が期待する水準どおりであった場合/2:実施計画に基づく管理運営や事業の実施が目標値又は期待する水準をやや下回る場合/1:目標値を大きく下回る場合

1 施設の設置目的の達成に関する取組

施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか		評価
管理運営状況	児童への読書推進、調べ学習促進に重点を置き、それによる図書館の活性化を図った。 市内小学校全13校への学校図書館支援員を配置、「第1回ふじみ野市調べる学習コンクール」開催など提案事業を実施した。 館内においては図書館育児アドバイザー(保育士)配置による子育て支援、書籍消毒機設置、ICタグ貼付等、提案事業を計画通り実施した。	4
区分	具体的な取組の状況・実績	
小学校図書館支援員配置	市内小学校全13校に対し、学校司書を配置(週2日)。 学校図書館整備、オリエンテーション、ブックトーク、読み聞かせ等を恒常的に実施。授業支援とし上福岡図書館から資料団体貸出しを年間164回実施。これによる学校図書館の活性化、児童への読書推進効果は1月に実施した「ふじみ野市 小学生読書調査アンケート」からも読み取れる。	
提案事業	「第1回 ふじみ野市図書館を使った調べる学習コンクール」を実施。市内全小学校から154作品の応募。 入賞18作品を表彰。上位3作品を全国コンクールへ出品し3作品とも佳作入賞した。 関連事業として6月市内小中学校、図書館職員への「指導者研修会」、7月8月「夏休み調べる学習講座(全9講座)」参加264名を実施した。	
提案事業	上福岡図書館1階開架所蔵資料約8万冊にICタグを貼付。 平成30年度にも8万冊を実施予定。資料盗難を防止、将来のICT化に備える。	

2 指定管理者の健全性

団体の財務状況や組織体制は安定していて、施設管理を継続的、安定的に行うことができるか		評価
特記事項(問題等があった場合)		3

3 施設の有効活用

施設利用状況		利用区分等	予定(計画・目標) 単位	利用実績 単位	対前年比	年度目標達成率	評価
		来館者数	333,200 人	336,417 人	101.0%	101.0%	3
		貸出点数	646,600 点	636,041 点	98.4%	98.4%	
		予約件数	76,400 件	73,398 件	96.2%	96.1%	
<p>(特記事項)</p> <p>気温の上がる5月6日に空調機が故障により使用不能、修理後の7月8月9日においても空調機への負荷軽減のため弱冷房運行であった。5ヶ月間、来館した利用者に対し快適な環境を提供できなかった。これによる来館者数、貸出数への影響は少なからずあったと推測する。</p>							
事業実施内容		協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及びその理由			
事業実施内容	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 施設及び設備の維持管理に関する業務 利用者登録、貸出、返却、予約リクエスト受付等、窓口サービス業務 図書館資料選定、購入、受入、整備、除籍等、蔵書管理業務 レファレンス業務 移動図書館巡回業務 上福岡西公民館図書室運営業務 施設の利用許可に関する業務 図書館まつり、おはなし会、えいが会等、行事の開催 スタッフ研修 		<p>追加事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童から高齢者まで参加できる「おりがみ教室」を毎月、「ミニ本づくり教室」を2回開催 来館頻度の高い高齢者のために「大活字本」特別展示を実施 調べ学習促進のため「夏休み 調べる学習講座」を全9講座開催 			
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館支援事業 ICタグ導入 書籍消毒機「ハッピークリーン」の設置 館内Wi-Fiスポットの設置 タブレット端末の館内貸出 情報データベースの導入 物販コーナーの設置 図書館育児アドバイザーの配置 「図書館を使った調べる学習コンクール」の開催 					
利用サービス向上の取組		<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者(TRC図書館流通センター)主催研修会、県立図書館等主催研修会を数多く受講し、個々のスキルアップに努め利用者サービス向上に繋げた。 図書館来館者に対し、季節、郷土、時世等多くの資料展示を展開し図書館利用促進を実施した。 					

4 利用者評価

区分	内容		評価
利用者の要望把握	(1) 利用者要望把握方法	小学生に対する読書調査アンケートを実施	4
	(2) 調査、会議等の内容	<p>ふじみ野市立全小学校2年生、4年生、6年生約3,000名に対し読書調査アンケートを実施(回収2,712名)</p> <p>・小学校図書館について…利用実態、満足度、希望すること ・移動図書館「ともしび号」について…利用実態、満足度、希望すること</p> <p>・地域図書館について…利用実態、満足度、希望すること ・年間読書について ・ほか自由記述</p> <p>このアンケートにより、ふじみ野市小学生の読書動向と学校図書館、図書館利用満足度を調査した。</p>	
	(3) 調査、会議等の結果	<p>調査報告書を教育委員会、校長会、図書館協議会へ提出し結果報告。報告書は図書館資料(館内閲覧)としても保存。</p> <p>・アンケート結果は設問ごとの単純集計分析と、設問同士のクロス分析を実施。学年別、地域別でも分析した。</p>	
利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価	<ul style="list-style-type: none"> 小学校図書館について…学校図書館支援員配置後、「明るくなった」:822人、「選びやすくなった」:1499人、「本を読みに行きやすくなった」:514人など学校図書館支援員配置効果が読みとれた。 地域の図書館について…地域ごと(小学校ごと)に利用される図書館に差が出た。約92%の児童が地域図書館の利用経験があった。 自由記述(読書、図書館について)…「本が好き」「たくさん読みたい」「勉強になる」など読書に前向きな回答が833名からあった。 	
	(2) 苦情・改善等の要望事項	<ul style="list-style-type: none"> 移動図書館「ともしび号」について…低学年(2年生)の利用率は81%と高く、4年生52%、6年生34%と高学年は少ない。移動図書館の限られた蔵書量では多様化する高学年児童のニーズに応えられていない実態が読みとれた。また、小学校ごとにも利用率の差が大きく見られた。 小学校図書館について…自由記述において「本をふやして」という記述が1093名からあった。次いで「サービスについて」が332名、その内訳は「本の紹介をして」「よみかかせをして」「たのしいイベントを開催して」という記述が多く見られた。「利便性向上」に関する記述も221名と多く、「貸出冊数をふやして」「いつでも利用できるようにして」という記述が多く見られた。 * 小学生アンケート以外の上福岡図書館、西公民館図書室に関する苦情は、空調(館内温度)以外は発生していない。 <p>《対応措置》</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校図書館の蔵書について…各学校との連携を強化し団体貸出しを強化する。 学校図書館のサービス向上について…学校との連携を強化しブックトーク、よみかかせの頻度を上げる。 移動図書館「ともしび号」について…H30年度に蔵書内容、運用方法の見直しを検討する。利用率の低い学校とは利用促進策を提案する。 児童の地域図書館利用について…「調べる学習コンクール」を各学校と連携強化の上推進し、地域図書館利用活性化を図る。 	

5 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(平成29年度)				市の収支				評価	
	年度計画額		収支実績額		平成29年度決算		平成28年度決算(前年度)			
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額		
事業収支 (単位:円)	収入	利用料金		利用料金		施設使用料		施設使用料		3
		指定管理料	136,348,644	指定管理料	136,348,644	行政財産使用料	70,086	行政財産使用料	144,807	
		自主事業※	110,000	自主事業※	135,245	国庫支出金		国庫支出金		
		雑入	96,000	雑入	114,310	県支出金		県支出金		
		計	136,554,644	計	136,598,199	その他	48,437	その他		
	支出	人件費	69,774,644	人件費	79,117,333	計	118,523	計	144,807	
		消耗品費	1,000,000	消耗品費	1,527,381	修繕料	8,150,868	修繕料	3,732,782	
		光熱水費	7,350,000	光熱水費	7,600,743	保険料	58,741	保険料	57,990	
		委託料	17,352,000	委託料	17,367,643	指定管理料	136,348,644	指定管理料	136,348,644	
		賃借料	872,000	賃借料	849,559	業務委託料		業務委託料		
		通信費	1,915,000	通信費	1,968,105	土地・建物賃借料		土地・建物賃借料		
		保険料	60,000	保険料	56,582	その他	10,349,160	その他	15,310,752	
		修繕費	2,000,000	修繕費	1,571,474	計	154,907,413	計	155,450,168	
		事業費(市指定事業)		事業費(市指定事業)						
		事業費(自主事業)	7,734,000	事業費(自主事業)	10,412,793					
		公租公課		公租公課						
		現場管理費		現場管理費						
		一般管理費(本経費等)	6,000,000	一般管理費(本経費等)	6,000,000					
		資料費	22,200,000	資料費	22,184,973					
		その他	297,000	その他	230,914					
計	136,554,644	計	148,887,500	計	154,907,413	計	155,450,168			
損益	0	△ 12,289,301	差引	△ 154,788,890	△ 155,305,361					
自主事業※	収入		収入							
	支出		支出							
	自主事業損益	0	自主事業損益	0						
人件費比率【人件費/指定管理者事業支出】									53.1%	
事業収支における経営分析				小学校図書館支援員を増員、および指定管理者(図書館流通センター)における雇用制度見直しによるベースアップを実施。これにより人件費が当初予算より大幅に超過した。						
一般管理費が、計画額と実績額で異なる理由										

6 管理運営全般 ※すべて「適」で「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が適正で有効に配置されているか	適	3
	配置実績 館長1名、副館長1名、図書館業務責任者4名、図書館スタッフ18名、 学校図書館支援責任者2名、学校図書館支援員9名 合計35名(司書:24名 司書率:68.6%)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	適	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 利用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	適	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	適	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実施されたか		
その他	2 備品は台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	適	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが適切な時期に提出されたか	適	3

7 危機管理体制 ※すべて「適」で「3」。1箇所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
安全対策	1 危機管理マニュアルが整備されているか	適	3
	2 危機管理マニュアルの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	適	
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	適	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	適	
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

総合評価

【総合評価】 S:極めて優れている/A:優れている/B:やや優れている/C:適正である/D:努力が必要である/E:改善が必要である

評価項目	評価	総合評価		社会教育系施設
		総合評価		
施設の設置目的の達成	4	B		
指定管理者の健全性	3			
施設の有効活用	3			
利用者評価	4			
事業収支	3			
管理運営全般	3			
危機管理体制	3			
評価理由	<p>小学校全13校に図書館支援員を配置し、小学校の図書室の整理、掲示、並べ替え、図書利用のオリエンテーションなどを行い、小学生のアンケートではとてもよくなったと回答をいただいているように、小学生への読書支援は評価できます。また、定期的に図書の展示を行い、利用者への資料案内と利用へ繋げることも評価できます。しかし、スタッフの司書資格率が68%にも関わらず、チラシ作成時における指摘事項や選書会議における選書の理由、廃棄図書の理由などがあいまいである事が多く、個人的な意見となってしまっており、担当者を中心に、スタッフの共通認識となっていないことが見受けられた。</p>			
取組・改善案等(施設所管課)	前年度からの課題・改善事項	実施状況	次年度へ向けての目標・取組・改善事項	
	従来から実施されているサービス項目をスタッフ全員が理解し、問題、課題などは館長に集約し、速やかに大井図書館に報告すること、ケアレスミス無くすことについて、スタッフ研修、手順のマニュアル作成を支援、助言する。	選書会議においては、選書理由を必ず述べてもらい、両館担当で話合う事とし、廃棄においてもリストに理由を明記してお互いに話し合うこととした。	配架替え、図書資料所蔵データ変更については、サービスの低下にもつながる事も考えられるので、スタッフ全員での理解と館長への報告、市への報告をしっかりと行うように指導する。	

指定管理者自己評価

(1) 評価期間の取組に対する評価

① サービス向上に向けての取組

- ・ふじみ野市内全小学校に学校図書館支援員を配置。学校図書館運営支援、活性化を行った。
- ・調べ学習促進による ふじみ野市内小中学校との連携強化、図書館利用促進を行った。
「第1回 ふじみ野市図書館を使った調べる学習コンクール」応募154作品 入賞18作品を表彰。上位3作品を全国コンクール出品
6月に市内小中学校、図書館職員に対し「指導者研修会」を実施。7月8月「夏休み調べる学習講座(全9講座)」を開講延べ264名参加。
- ・「子ども司書講座」「工作教室」等、夏休み期間を利用し小中学生向けイベントを実施した。
- ・「おりがみ教室(毎月開催)」「ミニ本作り教室(年2回開催)」「影絵上演」など、子どもから高齢者まで同時に楽しめるイベントを開催した。
- ・「図書館育児アドバイザー(保育士)」を週4日配置し、図書館児童サービス担当と協力し子育て支援サービスを継続強化した。
- ・障がい者サービスとして、「バリアフリー映画会」「聴導犬デモンストレーション」「大活字本展示」等を実施。
- ・「上福岡図書館まつり」において郷土特別展示「火工廠物語」を開催。郷土資料館、「火工廠物語」作者の協力のもと多くの利用者に郷土歴史を紹介した。
- ・「季節」「時世」「テーマ」展示・飾付を年間127回展開し来館者への利用を促進をした。

② 業務の効率化に対する取組

- ・図書館スタッフ、学校図書館支援員全員に対し研修を強化実施した。
TRC主催研修:のべ49名、県立図書館等外部研修:のべ50名、休館日館内研修12回(のべ320名)、学校支援員館内研修12回(のべ130名)
研修内容:「接遇研修」「レファレンス研修」「MARC研修」「障害者サービス」「児童サービス」「郷土資料」「著作権」「メンタルヘルス」「クレーム対応」他
個人情報取り扱い「Pマーク研修」全スタッフ受講、防災訓練、防犯訓練各1回実施。
- ・貸出返却業務効率化の為、事務所内作業場レイアウト変更等、適宜見直しを行った。

③ その他

- ・「ふじみ野市 小学生読書アンケート」を実施した。(対象市内小学校2年生、4年生、6年生約3,000名 回収2,712名)
「学校図書館利用動向」「移動図書館ともしび号利用動向」「地域図書館利用動向」「年間読書量」と共に利用満足度、希望を調査した。
調査結果を冊子にまとめ教育委員会、校長会、図書館協議会に提出の上、報告。図書館資料として保存。
- ・「上福岡図書館まつり」を開催。幅広い年代層をターゲットとした催しを開催し、図書館利用促進した。

(2) 管理業務実施上の課題

- ・築20年以上経過している施設の為、日常点検、館内巡回を励行し安全に配慮した運営を行う。
- ・空調設備をはじめ施設の維持管理を適切に行うとともに、必要ヶ所の修繕、更新を実施し館内の快適な環境維持に努める。
- ・現在市場流通していない視聴覚資料(LD、VHS、カセットテープ)および視聴覚機器(LD、VHS)の、将来的な取り扱い方法の検討。

(3) 次年度以降の取組

- ・開架図書約16万冊へのICタグ貼付(H29年度:8万冊、H30年度:8万冊)による資料の盗難・紛失を防止する。
- ・市内小学校図書館支援員の活動充実を図り、更なる学校図書館の活性化、読書推進に努める。
- ・第2回ふじみ野市 図書館を使った調べる学習コンクールの推進により、調べ学習促進、図書館利用促進、地域活性化、学校との連携強化を図る。
- ・図書館スタッフへの継続的研修受講を促進し、サービスレベルの維持向上に努める。